

牛首紬

歴史

平治の乱(1159年)に敗れた源氏の落人が白峰村桑島へ逃れ、その妻が村人に機織を教えたのが始まりと言われている。江戸時代には白峰地方は天領となり、幕府の保護奨励策と商品経済の発展により全国的に名声を博した。

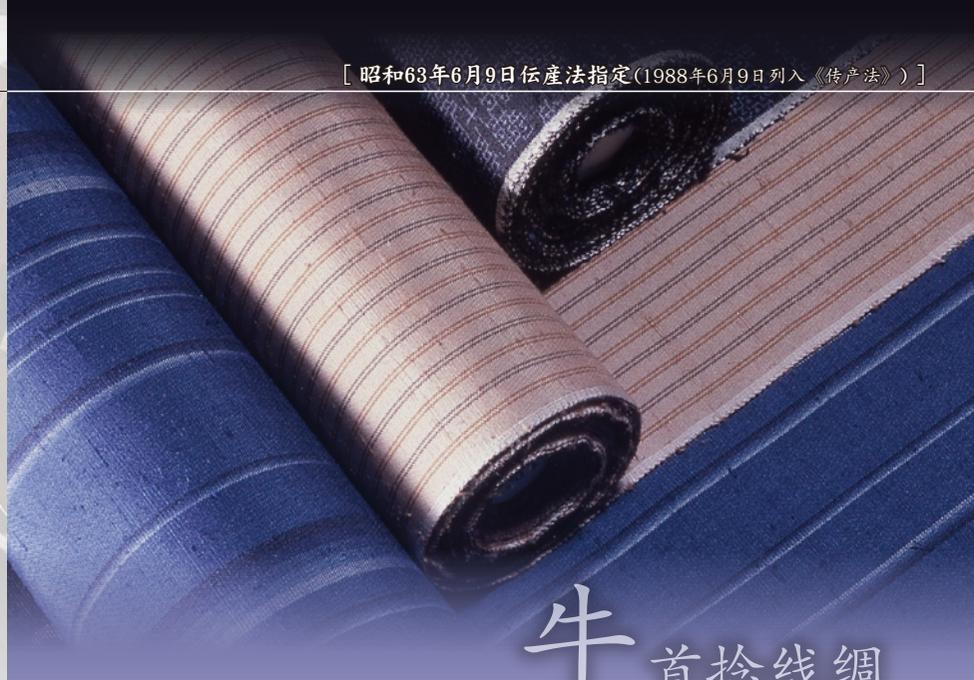
明治以降も養蚕の奨励と共に製糸や紬織が伸びていたが、第二次大戦により姿を消し、戦後、熱意ある人々の努力で復興した。

特色

釘に引っ掛けても反対に釘が抜けるほど丈夫なため、別名「釘抜紬」と呼ばれた。普通、紬は真綿を手で紡いだ紬糸を織るが、牛首紬は、2匹の蚕が共同で作った玉繭から直接糸を引き出して製糸(座繰製糸)した、太く節のある絹糸で織るため、野趣に富んだ素朴な美しさを持ち、独特の味わいがある。

現在でも、伝統技法により糸づくりから織りまでの工程作業を一貫して行っている。

昭和54年7月24日石川県無形文化財に指定された。



牛首捻线绸

历史和特色

牛首捻线绸源自于12世纪中期，源氏在与平家斗争中战败而逃往白峰村，后来他们将纺织技术传授给村民。在江户时代，牛首捻线绸受到幕府的庇护，发展成为地区的一项产业。在第二次世界大战中，牛首捻线绸消失不见，但是战争结束后，在村民们的努力下得到了复兴。

牛首捻线绸手感柔软却又异常牢固，甚至被称为“拔钉捻线绸”。由两条蚕共作的大茧中直接抽出的蚕丝，用此粗而有节的丝线织出的牛首捻线绸具有野趣十足的朴素美。牛首捻线绸从纺线到织布的传统技法代代相传，传承至今。

情報 资讯

主な生産地(主要产地)	白山市(白山市)
主な製品名(主要产品名)	訪問着、小紋、先染着尺、帯、和装小物等 (訪問穿和服、小紋、先染后织布、帯子、和服小饰品等)
主な生産者(主要生产者)	石川県牛首紬生産振興協同組合(石川县牛首捻线绸生产振兴协同组合) 〒920-2501 白山市白峰又17(白山市白峰又17) TEL (076)273-2400 FAX (076)273-4414